**【テーマ２】　府庁版働き方改革の推進**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ◎長時間労働の是正や柔軟な働き方の実現など、府庁版「働き方改革」の取組みを進め、職員の心身の健康確保、職員が働きやすい職場づくりを目指します。  （中長期の目標・指標）  ・時間外勤務総時間数の対平成29年度比減、月80時間超え及び年間360時間超え職員数ゼロ  ・在宅勤務及びサテライトオフィスの利用促進 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **組織風土改革** | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R２年３月末時点）＞** |
|  | **■働き方改革の推進**  「上司の働き方を変える」「職員の意識改革」「ＩＴ活用による業務改善」の視点に基づき、大阪府庁版「働き方改革（第１・２弾）」の発展及び各部局の自発的取組み促進と横展開  例）「イクボス運動」「グループ内での定時退庁の取組み」「上司のマネジメント力の発揮」など  （スケジュール）  元年5月~　部内タスクフォースで検討  　　　 7月　　各部局の自発的取組み事例の収集  　　　 9月頃　取組案のまとめ～促進 | ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・職員の心身の健康確保、業務の平準化、仕事の効率化を図る  （数値目標）  ・時間外勤務実績  平成29年度比減【H29年度993,990時間】  ・月80時間超え職員数ゼロ  ・年間360時間超え職員数ゼロ  ※災害等やむを得ない事情による時間外勤務を除く | **■働き方改革の推進**  ○直近の取組内容と今後の展開等の取りまとめ  ・部内タスクフォース開催（6・9・11・1・3月）  ・働き方改革推進責任者会議開催（6月）  組織風土改革に向けた取組みと各部局の自発的取組み  の収集を依頼  ・各部局の自発的取組みを収集（８月）  ・取組み案（たたき台）をとりまとめ  ○時間外勤務縮減に向けた取組み  ・大阪府庁版「働き方改革」に基づく取組み推進  時間外勤務の見える化（管理シート共有）  グループ内での定時退庁の取組の徹底等  　　　上司のマネジメント力の発揮（仕事の棚卸し等）  　　　次世代情報システム技術（AI・RPA）の導入　など  　・次長会議（毎回）等での情報共有と取組要請  　・時間外勤務の上限時間の設定  　　（原則、年間360時間以内、月45時間以内）  （数値目標）  ・時間外勤務縮  元年度：1,031,268H　対29年度比37,278H  ・月80時間超え職員  元年度：249名　対29年度比較▲6名  ・年間360時間超え職員  元年度：459名　対29年度比較▲149名  ※非常災害等に伴う時間外勤務を除く |
| **柔軟な働き方の提案** | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R２年３月末時点）＞** |
|  | **■在宅勤務及びサテライトオフィスの本格実施に向けた取組**  来年の本格実施に向け、所属長、グループ長及び育児、介護等を担う職員等の中心に在宅勤務の試行実施を行い、対象者や必要台数の精査を行う。また、サテライトオフィスの試行実施についても、利用促進を図る。  ■**特定事業主行動計画（後期計画）の策定**  仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図り、子育て中の職員を支援し、すべての職員が働きやすい職場環境づくりをめざす。  （スケジュール）  元年5月　　前期計画の実施状況の検証  　　　 ７月　　アンケート調査  ２年2月　　後期計画策定 | ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現  （数値目標）  ・在宅勤務の利用者数　1,300名  ・サテライトオフィスの利用者数　200名 | **■在宅勤務及びサテライトオフィスの本格実施に向けた取組**  『在宅勤務』  ○体験しやすくするための制度変更  ・職場と自宅の併用が可能  ・一時的な勤務時間の割振り変更が可能  〇所属長・グループ長等を対象とする取組の強化  ・総務部で先行実施（6月）  ・本庁全部局で体験利用（7・8月）  ・体験利用者のアンケート結果を分析（11月）  ・育児介護等の要件のある職員を中心に展開（9～3月）  （利用実績）  延べ478名  ⇒令和２年度から段階的に本格実施予定  （育児などニーズの高い職員から段階的導入）  『サテライトオフィス』  ○管理方法の見直し（オートロック式ドアで管理）  ○三島サテライトオフィスオープン（５月）  （利用実績）  泉北：延べ89名・三島：延べ92名　計181名  ⇒令和２年度から常設化（２か所）  ■**特定事業主行動計画（後期計画）の策定**  ○前期計画の目標達成状況  　・男性の育児参加休暇70％以上：74.1％（30年度）  　・年次休暇平均取得日数14日以上：12日（31年）  ○アンケート調査実施（９月）  　・回答者数　 825名  〇後期計画策定（３月）  　・数値目標:男性の育児参加休暇取得率　　100％  　　　　　　　　 男性の育児休業取得率　　　　　 30％  　　　　　　　　　年次休暇取得日数　　　　 15日以上 |